

議事 (1) 詳細調査の評価項目(案)について

対象区域調査における比較評価項目(案)の設定

(1) 目的

名取市で抽出された5つの候補予定区域について相対評価を行うための比較評価項目(案)を設定する。

(2) 比較評価項目

比較評価項目は、「廃棄物最終処分場整備の計画・設計・管理要領」、H20、H25、R3に亘理名取共立衛生処理組合が実施した候補地選定業務における項目や他事例(宮城県産業廃棄物最終処分場整備に係る候補地選定等)で設定されている評価項目を参考に設定する。

(3) 評価基準

比較評価では、候補予定区域の適正度が「高い◎・普通○・低い△」の3段階で評価することを想定し、比較評価項目ごとに評価基準を設定する。

評価項目、評価基準は、候補予定区域の適正度を的確に判断するために、比較検討作業を進めていく中で、必要に応じて項目の追加、変更等について検討する。

表 比較評価項目と評価基準（案）

No.	評価項目	評価基準
1	土地利用上法規制	土地利用上の規制区域の有無規制等がある場合は、必要な許認可、法規制解除の容易さで評価する。 ・適正度が高い（◎）：規制等が無い。 ・適正度が普通（○）：規制等があるが、必要な許認可、法規制解除は容易。 ・適正度が低い（△）：規制等があり、必要な許認可、法規制解除が困難。
2	災害危険性	防災面に係る法規制等の状況、災害履歴の有無、大雨・津波の影響、活断層との位置関係を評価指標とする。 ・適正度が高い（◎）：災害等の危険リスクが無い。 ・適正度が普通（○）：災害等の危険リスクがあるが、対応が容易。 ・適正度が低い（△）：災害等の危険リスクがあり、対応が困難。
3	地質、地下水位等	軟弱層の分布状況、地下水位の高低など、配置、施工に与える影響度を評価指標とする。（地形は災害危険性、施設配置で評価） ・適正度が高い（◎）：地形・地質、地下水位ともに課題が無い。 ・適正度が普通（○）：地形・地質、地下水位に課題があるが、対応が容易。 ・適正度が低い（△）：地形・地質、地下水位に課題があり、対応が困難。
4	道路整備状況	主要道路からの距離、道路整備・拡幅等の必要性、容易性で評価する。 ・適正度が高い（◎）：主要道路からの距離が短く、道路整備・拡幅等が必要ない又は容易。 ・適正度が普通（○）：どちらか課題がある。 ・適正度が低い（△）：主要道路からの距離が長く、道路整備・拡幅等が必要。
5	運搬効率	主な排出元となる岩沼東部環境センターからの距離、ルート（スクールゾーン、住宅地、狭隘道路等）の有無で評価する。 ・適正度が高い（◎）：運搬経路が短く、運搬時の安全性は高い。 ・適正度が普通（○）：どちらかに課題がある。 ・適正度が低い（△）：運搬経路が長く、運搬時の安全性は低い。
6	ユーティリティー	候補予定区域周辺のユーティリティー（電気、NTT、上下水道等）の整備状況で評価する。 ・適正度が高い（◎）：ユーティリティーの整備は不要である。 ・適正度が普通（○）：ユーティリティーの整備は必要だが、容易である。 ・適正度が低い（△）：ユーティリティーの整備は必要かつ大規模になる。

No.	評価項目	評価基準
7	生活環境保全	集落や学校、病院の施設との位置関係（近接していないこと）、景観や生活環境への影響で評価する。 ・適正度が高い（◎）：候補地周辺□m以内に集落や学校、病院等の施設はなく、景観等への影響がない。 ・適正度が普通（○）：候補地周辺☆～□mに集落や学校、病院等の施設はあるが、景観等への影響が少ない。 ・適正度が低い（△）：候補地周辺☆m以内に集落や学校、病院等の施設があり、景観等への影響が大きい。
8	水環境保全	上水道や農業用水の水源、取水場との位置関係（上流に位置しないこと）、下流域における利水状況（農業用水等）により評価する。 ・適正度が高い（◎）：下流域の水源等や利水状況など制約条件はない。 ・適正度が普通（○）：下流域の水源等の制約条件はあるが、易しい。 ・適正度が低い（△）：下流域の水源等の制約条件が厳しい。
9	施設配置	施設配置の現実性、埋立容量の確保性、造成工事の大小（開発面積、擁壁等構造物の多寡）で評価する。 ・適正度が高い（◎）：造成工事が小規模である。 ・適正度が普通（○）：造成工事が中規模である。 ・適正度が低い（△）：埋立容量の確保が困難、造成工事が大規模である。
10	経済性	概算整備費、概算維持管理費の大小で評価する。（程度については要検討） ・適正度が高い（◎）：平均より安価。 ・適正度が普通（○）：平均と同程度。 ・適正度が低い（△）：平均より高価。
11	用地取得	土地利用状況や地権者数で評価する。 ・適正度が高い（◎）：地権者数は○人以下で、用地取得の難易度は低い。 ・適正度が普通（○）：地権者数は○～○人で、用地取得の難易度は中程度。 ・適正度が低い（△）：地権者数は○人以上で、用地取得の範囲度は高い。
12	その他の課題の有無	施設整備・運営を行う上で、その他の課題の有無を評価指標とする。